石鎚山系のブランド価値創造に向けた包括的連携協定から1年を迎えて

平成30年3月30日

西条市・久万高原町・いの町・大川村

目　次

1．包括連携協定について

2．平成29年度の取り組みについて

（1）石鎚山系動向調査　～現状の把握～

（2）石鎚山系ポータルサイト開設
～行政の枠を超えた面的・効率的な情報発信～

（3）登山ルート　グレーディングマップ作成
～登山者の安全対策と多様なルート発信～

（4）広域サイクリングコースマップ作成
～登山だけではない石鎚山系の楽しみ提案～

（5）登山道等実態調査、希少植物等自然環境保全など
～持続可能な資源化に向けた広域連携での取り組み～

3．課題と今後の取り組みについて

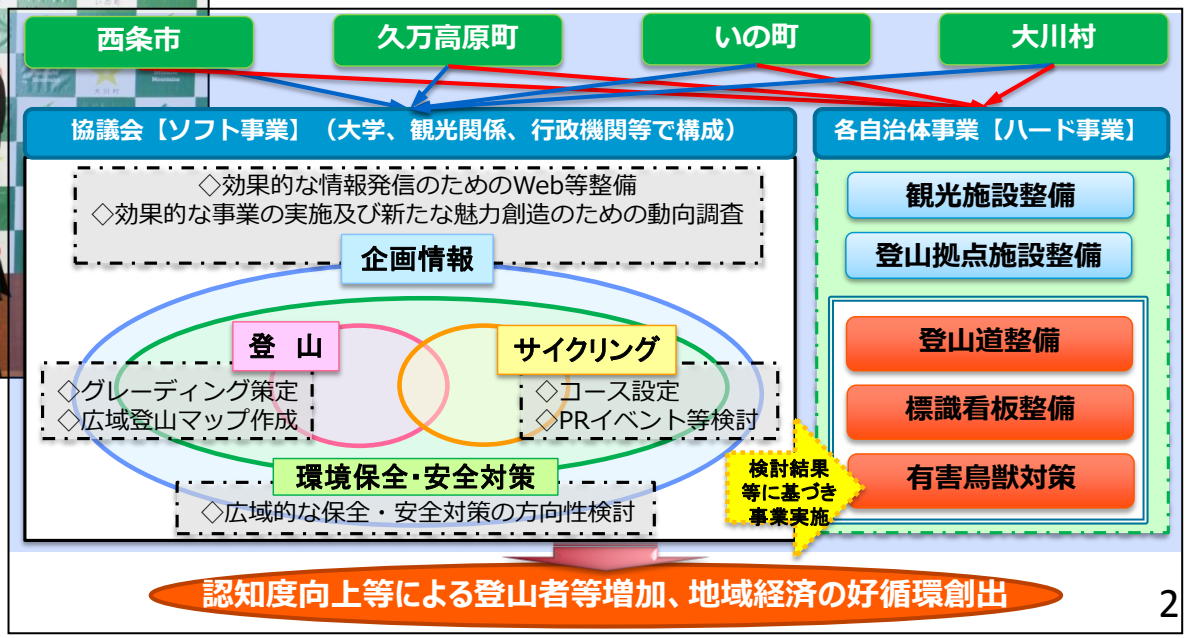
1. 包括連携協定について

背景・目的

○ 愛媛県西条市、久万高原町、高知県いの町、大川村が連携・協力し策定した地域再生計画「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」に基づき石鎚山系に係る観光振興、環境保全、安全対策等様々な取り組みを行う協議会設立を目指すとともに、当該協議会事業のみならず、石鎚山系のブランド価値創造を目指し、有機的、継続的な連携を図るべく、平成29年3月30日に包括連携協定を締結したところ。

○ その後、平成29年4月26日に「石鎚山系連携事業協議会」を設立し、各種事業を展開してきた。

協議会イメージ図



2. (1)石鎚山系動向調査実施　～現状の把握～

ポイント

○ 各種事業を効果的かつ戦略的に取り組むにあたり、登山者のみならず、石鎚山系及び石鎚山系周辺地域を訪れる来訪者の属性や回遊ルート、目的、また石鎚山系の認知度などを調査・分析することで、石鎚山系の現状及び強み（弱み）を把握することを目的に調査を実施。

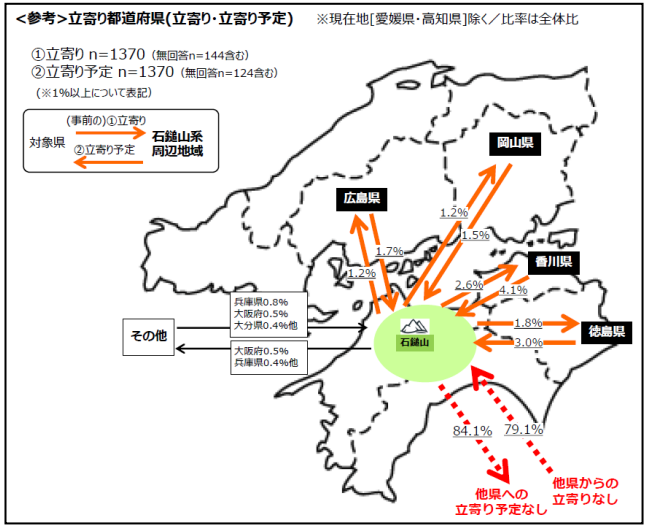
○ 携帯電話ネットワークデータにより入込客数及び宿泊者数を月別、居住エリア別に把握する『ビックデータ』、主要観光スポットにおいて来訪者の属性、満足度等を把握する『対面調査』、ターゲット層に対し、認知度等WEBにて調査する『ターゲット調査』をもって、分析等行い、現状把握と今後の戦略の方向性を見出した。

平成30年度の取組

○ 登山やサイクリング等各事業のプロモーション事業等に活用

○ 旅行会社向けモニターツアー、石鎚山系エリアを活用した旅行ツアー補助金事業により誘客を図る

○ 満足度等を踏まえ、受入態勢等今後の多面的な戦略を検討



将来的な取組

○ 各種事業を通じアンケート調査等を行うことでさらなるデータ蓄積を図るとともに、満足度や強み、弱みがどのよう変化していくか把握を行う

2. (2)石鎚山系ポータルサイト開設 ～行政の枠を超えた面的･効率的な情報発信～

ポイント

○ 行政の枠を超え、山や道路の状況など
リアルタイムな情報発信による安全確保に資する面的な情報発信
（緊急情報、気象、紅葉、道路情報等の提供、ライブカメラ映像配信）

○ 石鎚山系の関連情報の集約化による利便性の向上
（石鎚山系に関する情報のワンストップ化）

○ グレーディングマップやサイクリングマップなど、
石鎚山系の魅力を広く発信

石鎚山系公式webサイト

【URL】https://www.ishizuchisankei.com/

平成30年度の取組

○ アクセス分析等によりサイトの改修、更新

○ アクセス向上に向けたコンテンツ充実、特集記事作成

○ ライブカメラ増設等、利便性向上を図る

○ 継続的な運営体制構築のため、バナー広告等による
収益体制の確立に向けた検討

将来的な取組

○ 継続的運営に向けたコンテンツ充実と収益体制確立

2. (3)登山ルート グレーディングマップ作成 ～登山者の安全対策と多様なルート発信～

ポイント

○ 山の難易度の見える化し、登山者の安全確保のため、西日本で初めてとなるグレーディング調査実施

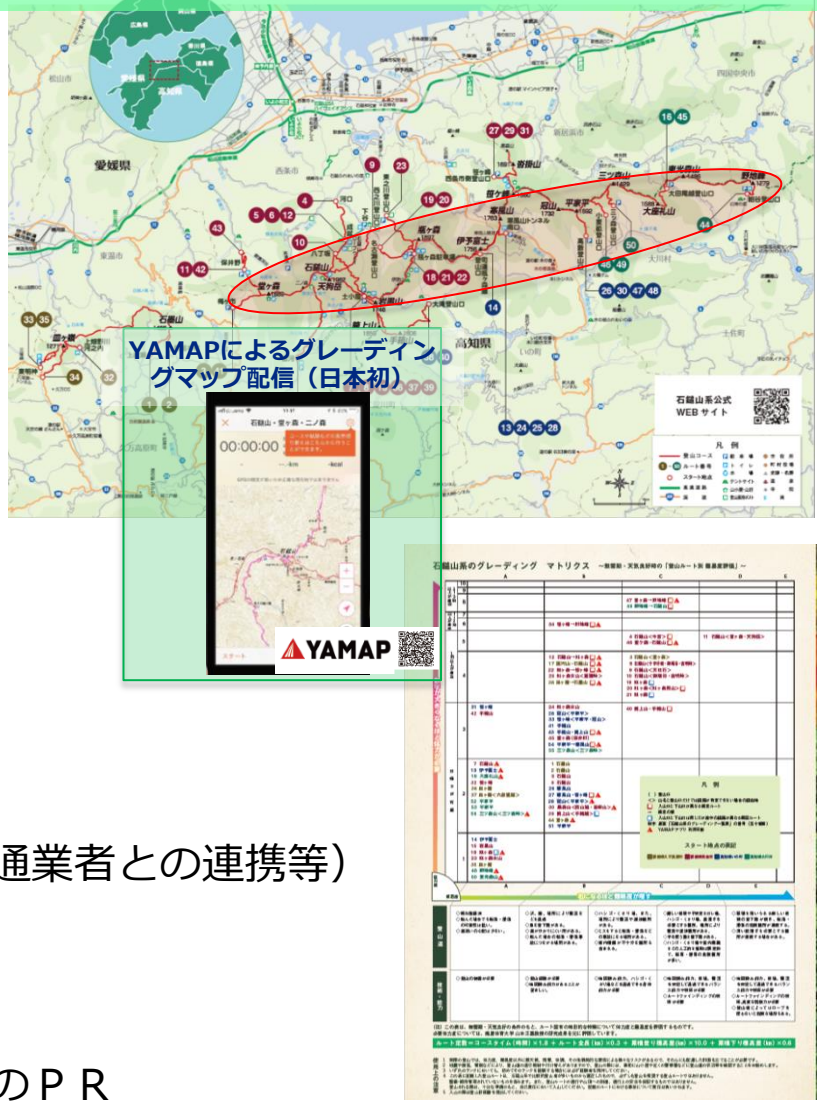
○ このグレーディング調査結果を利用しやすくするため登山アプリ（YAMAP）との連携により、日本初めてとなるグレーディングを付したマップ配信

○ グレーディングマップにより、多様な登山ルートの発信、提案へとつなげる

○ グレーディングマップを活用し、堂ヶ森～野地峰（約60㎞）のロングトレイルが四国初の特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会加盟トレイルとなった

○ 登山道、道標等の整備への活用

【石鎚山系グレーディングマップ】



平成30年度の取組

○ 登山者受入態勢強化を実施
（石鎚山系広域登山マップ作成、道標等整備、宿泊・交通業者との連携等）

○ モニターツアー実施等の検討

将来的な取組

○ 4市町村をまたぐ公式なロングトレイルコースとしてのＰＲ

○ ロングトレイルコースの維持のための仕組みづくり
（財源を確保し、コースの維持（道修繕、草刈り）、安全対策を実施）

2. (4)広域サイクリングコースマップ作成 ～登山だけではない石鎚山系の楽しみ提案～

ポイント

○ 4市町村をまたがる全長約150㎞のコース（上級者コース）と石鎚山系の麓で各地域の魅力を楽しむコース（初級～中級者コース）を設定し、石鎚山系エリアでのサイクリングの魅力を発信。

○ 長時間自動車を駐車してサイクリングを楽しめるよう拠点施設情報掲載

平成30年度の取組

○ サイクリングコースを活用したＰＲ
（サイクリングイベント出展、モニターツアー等実施）

○ サイクリストの受入態勢整備・充実
（コースにおける危険か所、注意箇所の情報収集と注意喚起）

○ サイクリングコース（拠点施設等）の充実

将来的な取組

○ 石鎚山系でのサイクリングの情報発信強化

○ サイクリスト受入態勢強化

【石鎚山系サイクリングマップ】

2. (5)登山道等実態調査、希少植物等自然環境保全など

～持続可能な資源化に向けた広域連携での取り組み～

ポイント

○ 現地調査により危険か所や道迷いポイントを確認することで、登山者等に注意喚起をするとともに、各自治体に登山道整備の提言をし、利用者の安全対策を図る

○ 4市町村連携した環境安全対策の検討、実施

修繕必要箇所

実態調査

平成30年度の取組

○ 事故、環境被害情報収集、提言
（登山者等の安全対策の充実と自然生態系保護のため、危険か所や希少植物の食害による被害情報等の情報収集、及び各自治体への提言実施）

○ 植生の保護対策検討（愛媛県と連携実施検討）
（石鎚山系の植生について、保護の優先度、適切な保護対策実施に向けた情報発信）

○ 体感イベント実施（愛媛県と連携検討）
（環境保全、安全対策のため、清掃登山、植物鑑賞ツアー、登山道等補修技術体験講座等実施）

将来的な取組

○ 優先順位を付けるなど、持続的な登山道、道標等の維持管理体制の検討、構築

○ 体感イベント等の継続実施（エコツアーでの運営資金確保）

○ 4市町村連携した環境安全、環境保全対策の継続実施

3．目標達成に向けた今後の取り組みについて

目　標	今後の取組
石鎚山系エリアへの 来訪者増大 【事業におけるＫＰＩ】（H27年度→H30年度） ・石鎚山登山者数　85千人 ⇒ 90千人 ・周辺主要観光施設入込客数　462千人 ⇒ 510.8千人 ・石鎚山系関連イベント参加者数　4,633人 ⇒ 5,100人	・ポータルサイト運営 ・旅行会社向けモニターツアーの実施 ・石鎚山系エリアを活用した旅行ツアーへの 補助金事業実施 ・サイクリングコースＰＲ、受入体制整備 ・ロングトレイルコース受入体制整備
石鎚山系の 持続可能な資源化 （安全対策・環境保全）	・リアルタイムな情報発信（ポータルサイト運営） ・事故、環境被害などの情報収集、対策提言 ・石鎚山系を学ぶ・感じる・体験するイベントの実施 （清掃登山、鑑賞ツアー、体験講座等）
協議会事業の 継続性・自立化 （稼ぐ仕組の構築）	・バナー広告（ポータルサイト） ・広域登山マップ等販売 ・会員制度、寄付金制度等の検討